

油 谷 湾 の 貝 類

杉村智幸・阿部弘和

山口大学教育学部生物学研究室

Molluscan fauna of Yuya Bay

Tomoyuki SUGIMURA and Hirokazu ABE

(Biological institute, Faculty of Education, Yamaguchi University)

(Received October 1, 2004)

序 論

油谷湾は山口県の北西部に位置し、東西10km、南北約4km、中央部の水深30~40mの北長門海岸随一の大湾である。山口県北部地方貝類目録(1963)では、油谷湾は北浦海岸に於ける代表的な貝類の多産地であり、また、日本海側の他の地域ではあまり知られていない貝類が見られることに言及している。しかし、湾内のどこにどんな種が生息しているかという具体的かつ詳細な報告はない。また、目録刊行後40年以上が経過した現在では、生活排水の流入や護岸工事等によって湾内の自然環境が大幅に様変わりしたことに伴い、貝類相も大きく変化していることが予想される。このような状況を考えると、油谷湾の貝類を詳細に調査し記録にとどめておくことは重要な課題と思われる。

そこで、筆者らは、油谷湾内のどのような場所にどんな貝類が生息しているかを主な目的として調査した。しかし内湾は、地形の複雑さや外洋水の流入および河川の影響等によって場所ごとに多様な環境から成り立っており、それぞれの環境に適応した貝類が生息することが予想される。従って、調査は、場所ごとの生息状況と自然環境との関連に注意しながら実施した。

調査の方法

調査は図1に示した11の地点で行った。調査は海岸に打ち上げられた貝類の採集および目視によって行った。また、微小な貝類については海岸の砂を持ち帰って1mmメッシュの篩でふるい、実体顕微鏡で観察し種の同定を行った。さらに、潮間帯岩礁棲の貝類については、大潮干潮時の磯採集および目視によって記録した。そして、砂泥底棲の貝類については、大潮干潮時に各地の干潟において底土を掘り下げ、園芸用篩でふるって採集した後、目視によって記録した。St11の油谷湾最深部の調査は、ドレッジを用いて行った。ドレッジは100×20×30cmの鉄製の方形枠に3mmメッシュの網を取り付け、海底を約500mにわたって潜行させて貝類を採集した。

St1の調査結果は1980年代の記録をもとに、St2およびSt8の調査結果については1998年11月から2000年3月までの記録に基づいている。St11の調査は2001年1月17日に行った。その他の地点の調査は、2003年5月から2004年7月にかけて行った。

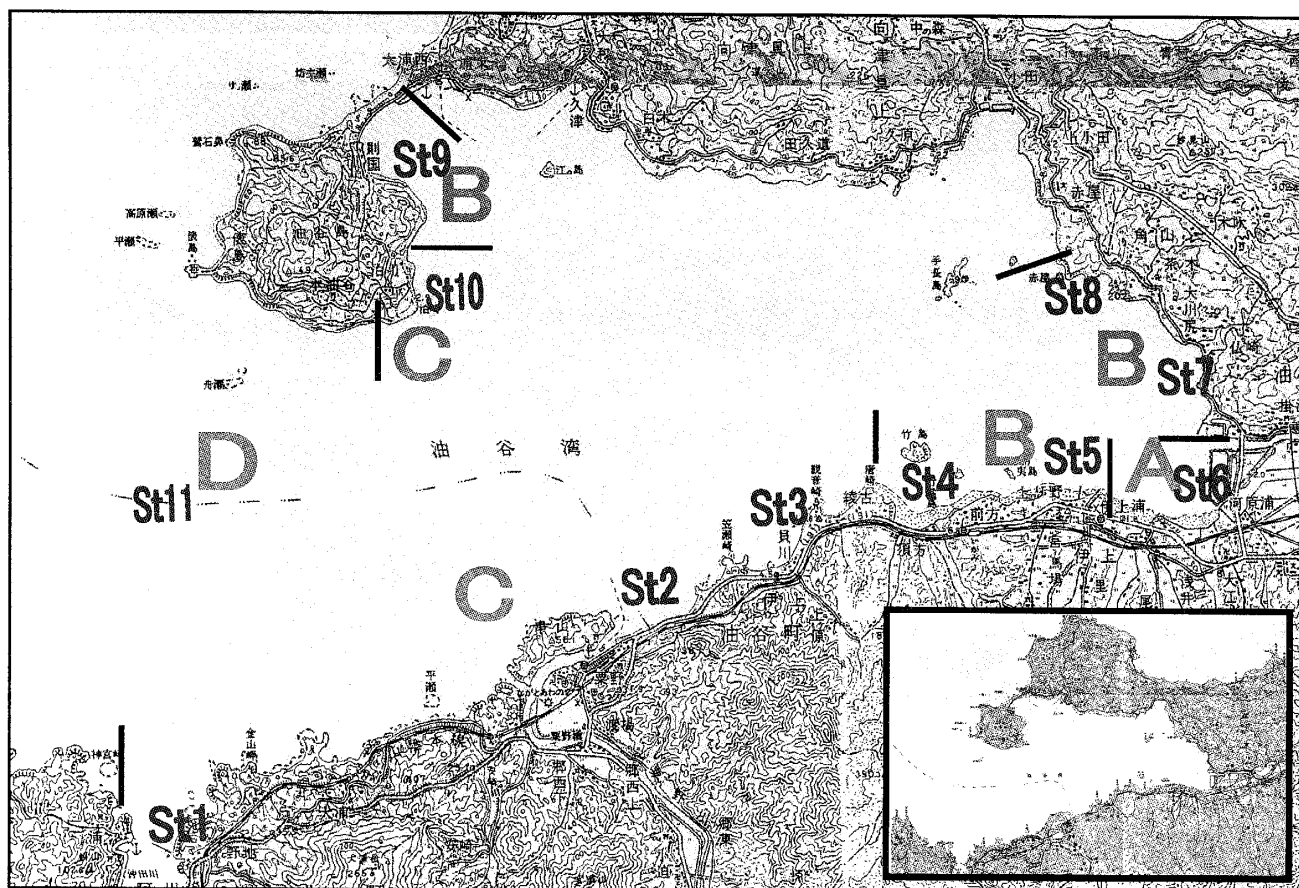


図1 調査地点

St1：豊北町阿川 St2：豊北町栗野川河口 St3：油谷町綾湖
 St4：油谷町伊上YYビーチ St5：油谷町伊上キャンプ場 St6：油谷町大江
 St7：油谷町仏崎 St8：油谷町角山 St9：油谷町則国 St10：油谷町泊崎
 St11：油谷湾最深部

結 果

貝類の種類と分布域

一連の調査を通じて観察した貝類は131科514種で、種の同定ができたものは505種であった。そのうち腹足綱が73科303種で最も多く、次いで二枚貝綱が53科201種、多板綱が3科7種、そして掘足綱は2科3種であった。分類群ごとの内訳は表1に、種のリストは資料1に示してある。

表1 観察した貝類

	多板綱	腹足綱	二枚貝綱	掘足綱	合 計
科	3	73	53	2	131
種 数	7	303	201	3	514

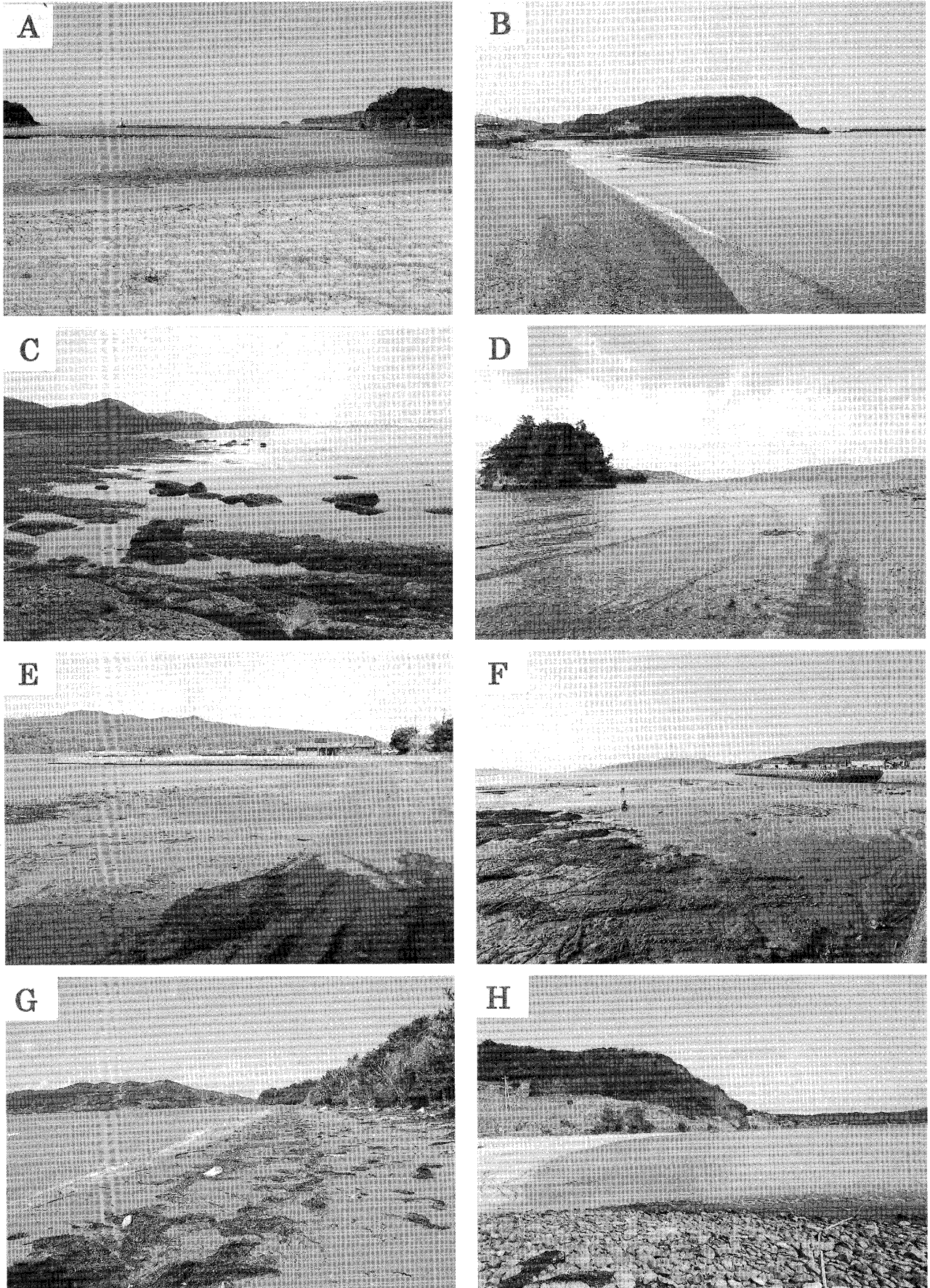


図2 主な調査地の様子

A : 豊北町阿川 B : 豊北町粟野川河口 C : 油谷町綾湖 D : 油谷伊上YYビーチ
E : 油谷町伊上キャンプ場 F : 油谷町大江干潟 G : 油谷町角山 H : 油谷町泊崎

次に種名が明らかになった505種全ての分布系を西村(1992)の生物地理区をもとに、熱帯系、広域熱帯系、温帯系、広域寒帯系、北太平洋系、大陸沿岸系の6つに分類し、それぞれの種数と割合を求め、表2と図3にまとめた。

表2 分布系ごとの種類

分布系	種数
熱帯系	48
広域熱帯系	210
温帯系	218
広域寒帯系	11
北太平洋系	11
大陸沿岸系	7
合計	505

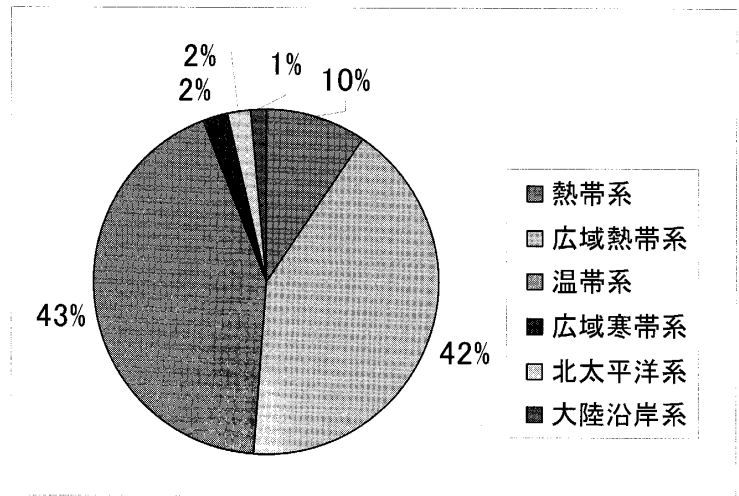


図3 油谷湾の貝類分布系

熱帯系は、インド太平洋の熱帯地方から房総半島まで分布する種で48種を確認した。広域熱帯系は、インド太平洋の熱帯地方から北海道南部まで分布する種で210種であった。温帯系は、九州南部から北海道南部に分布する種で、6つの分類群のなかで最多の218種を確認した。広域寒帯系は、オホーツク海から九州南部に分布する種で11種であった。北太平洋系は、インド太平洋の熱帯地方からオホーツク海まで分布する種で11種であった。大陸沿岸系は、日本列島が大陸と地続きであった寒冷な時代に分布を拡大した種で、6つの分類群の中で最も少ない7種を確認した。このように、油谷湾の貝類は、主に温帯系と広域熱帯系に属し、これに熱帯系を加えると全体の95%を占めることが分かった。その他では、広域寒帯系と北太平洋系がそれぞれ2%、大陸沿岸系が1%であった。

エリアごとの貝の種類

IIの調査地点を図1に示したA～Dの4つのエリアに区分して、種の組成を検討した。エリアの区分は調査地点の自然環境や熱帯系の生物指標となるタカラガイ類の観察種数も加味して行った。Aは内湾奥に位置し、大潮干潮時には広い範囲に干潟が出現するエリアで、タカラガイ類は観察できなかった。Bは湾奥から湾の中部に位置し、砂浜と発達の良い岩礁が広がるエリアで、タカラガイ類を4種観察した。Cは湾の中部から湾口に位置し、砂浜と発達した岩礁の広がるエリアで、タカラガイ類を13種観察した。Dは油谷湾内の最深部の砂泥底で、タカラガイ類は採集できなかった。

Aエリアでは湾内で観察した貝類の21.2%にあたる109種が、Bエリアでは57.2%にあたる294種が、Cエリアでは73.9%にあたる380種を観察し、湾奥から湾口のエリア順に、貝類の種類数が増加していることが明らかになった。腹足綱と二枚貝綱の比率は、ABCの各エリアでは、ほぼ3:2であったのに対し、Dエリアでは1:2となった。このようにA～Dのエリアにおける貝類の分布系は図4の通りである。

表3 エリア別の貝類の種数

観察地点	多板綱	腹足綱	二枚貝綱	掘足綱	合計
A	3 (42.9)	64 (21.1)	42 (20.9)	0 (0)	109 (21.2)
B	3 (42.9)	182 (60)	108 (53.7)	1 (33.3)	294 (57.2)
C	7 (100)	222 (73.3)	149 (74.1)	2 (66.7)	380 (73.9)
D	0 (0)	22 (7.3)	42 (20.9)	1 (33.3)	65 (12.6)

() は割合

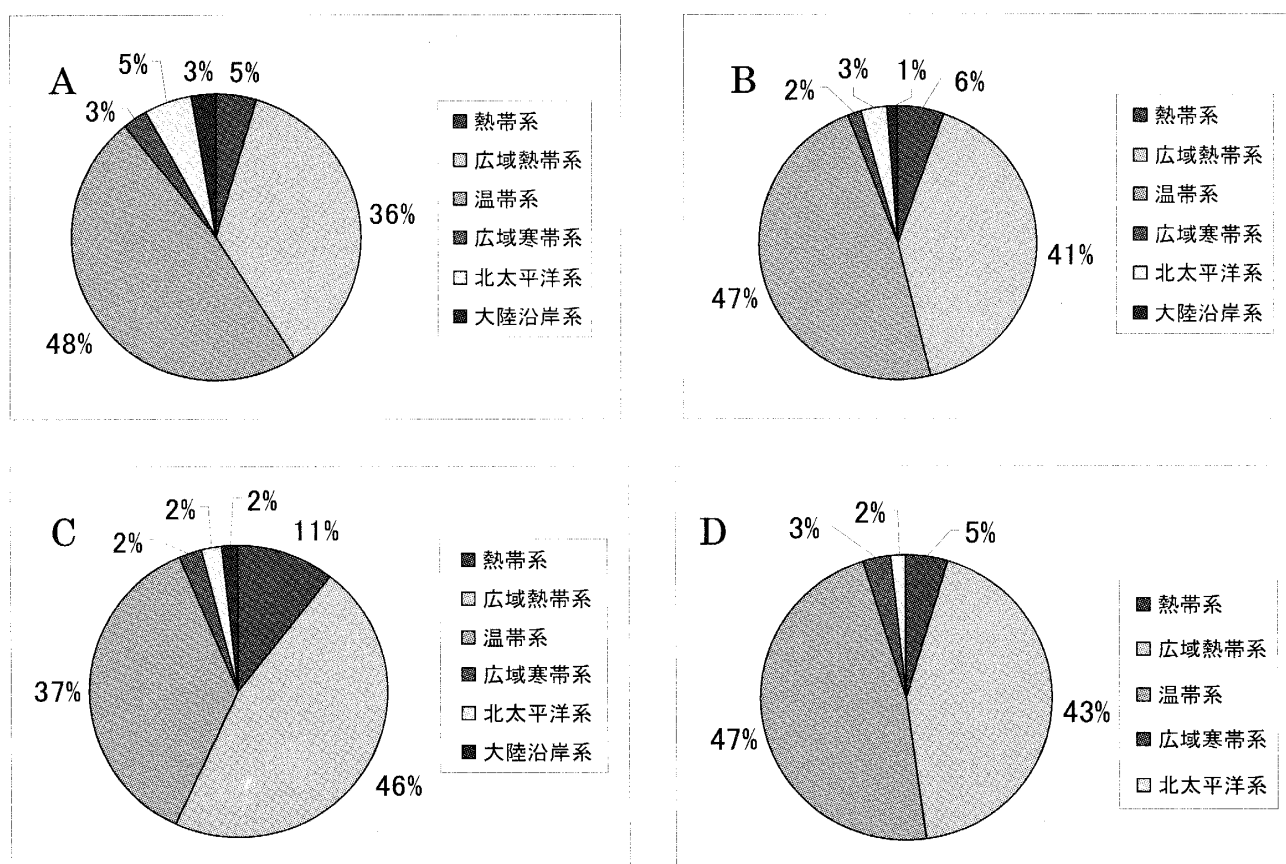


図4 エリア別の貝類分布系

このように、貝類分布系はエリアごとにより異なっていた。熱帯系と広域熱帯系が占める割合は、湾口のCエリアでは57%であったが、湾中部のBエリアで47%、湾奥部のAエリアで41%となり、湾口から湾奥に進むに従い減少していた。これに対して、温帯系、北太平洋系、大陸沿岸系の占める割合は湾口から湾奥に進むに従い高くなっていった。

エリア毎の種を詳細にみると、4つのエリア全てに共通して観察できた種はなかった。しかし、3地点に共通して見られたものは湾内で観察した514種の16.7%にあたる86種で、そのうちの79種はA B Cエリアに共通のものであった。2地点では31.7%の163種で、そのうちの132種がB Cエリアに共通するものであった。1地点のみ見られた種は51.5%にあたる265種であった。

表4 各エリアに共通する貝類と1地点のみに観察された貝類

確認地点	種 数	合 計
4地点	ABCD-0	0
3地点	ABC-79 ABD-1 ACD-0 BCD-6	86 (16.7)
2地点	AB-13 AC-9 AD-0 BC-132 BD-3 CD-6	163 (31.7)
1地点のみ	A-8 B-60 C-148 D-49	265 (51.5)

() は割合

1地点のみに見られた種のエリア内における割合は、Aでは7%、Bでは20%、Cでは39%、Dでは78%であった。Dエリアで観察した貝類は、他のエリアとは異なる深度分布の種であったため、特にその割合が高かった。また、油谷湾内で観察した全種類数に占める割合は、Aでは2%、Bでは12%、Cでは29%であった。このように、1地点のみに見られる種の割合は湾奥ではかなり低く、湾口のエリアに進むに従い高くなっていった。

大江干潟に打ち上げられた貝類

コードラート法によって、Aエリアの大江干潟に打ち上げられた貝類を定量的に採集し、貝の種類と個体数を調べた。採集にあたっては、状態の悪いものは除外した。その結果、1mあたり腹足類3種57個体、二枚貝類13種704個体の合計17種761個体を観察した。腹足類はアラムシロが50個体と最も多かった。一方、二枚貝類ではユウシオガイが598個体で優先し、アサリが77個体でこれに次いでいた。また、二枚貝類はツメタガイやネコガイによる捕食痕のある種が多く観察できた。そこで、2004年2月下旬から3月上旬の5日間にわたって二枚貝類とツメタガイ、ネコガイの打ち上げ個体を採集し、捕食された貝の種と数を調べた。二枚貝類は新鮮な合弁個体、ツメタガイについても新鮮な個体のみを対象とした。なお、ユウシオガイの個体数と捕食された割合は予備的調査をもとに推定した。結果は表5に示している。

表5 観察した貝類の数と捕食された数 (割合：%)

種 名	個体数	被捕食数	割合	種 名	個体数	被捕食数	割合
ツメタガイ	60	31	52	アサリ	1354	183	14
ネコガイ	24	0	0	ハマグリ	536	483	90
クイチガイサルボウ	15	13	87	オキシジミ	253	106	42
サルボウ	2	1	50	ユウシオガイ	10832	3250	30
シオフキ	50	1	2	ヒメシラトリ	13	0	0
バカガイ	54	11	20				

その結果、二枚貝類のうち、捕食された割合が最も高かったのはハマグリで90%を占めており、他種よりも著しく高いことが分かった。ハマグリに次いで高かったものはオキシジミの42%、ユウシオガイの30%であった。割合の低かったものはシオフキの2%、アサリの14%、バカガイの20%であった。干潟を掘り返して貝類の生息状況を観察したところ、ツメタガイとハマグリ、オキシジミ、シオフキの二枚貝類が同所的に産しているのが確認されたが、捕食された割合は大きく異なっていた。一方、二枚貝類の捕食者であるツメタガイも、甲殻類等による捕食を受けており、全体の52%が殻口から体層部にかけて捕食痕のある個体であった。

ツメタガイの定量調査

湾内の6地点において、海岸に打ち上げられたツメタガイを採集し、その個体数とサイズを計測した。採集は2004年2月から5月までの大潮干潮時に5回行った(図5)。個体数、サイズともに高い値を記録したのは大江干潟で、観察した328個体の平均サイズは 33.5×39.4 mmであった。反対に低い値を記録したのは、栗野川河口で、観察した35個体の平均サイズは 16.9×19.6 mmであった。

調査地の粒度分析

砂泥底の広がる調査地の粒度を分析した。各地点では、深さ約20cmまで掘り下げ、約200mlの砂泥を採取して、洗浄、乾燥の後、自動篩機によって行った。図6で分かるように、湾内の底質は細粒砂と極細粒砂の細かい砂を主体に構成されているところが大部分であったが、河口域では粗粒砂や極粗粒砂および礫などの粗い粒度組成になる傾向が認められた。

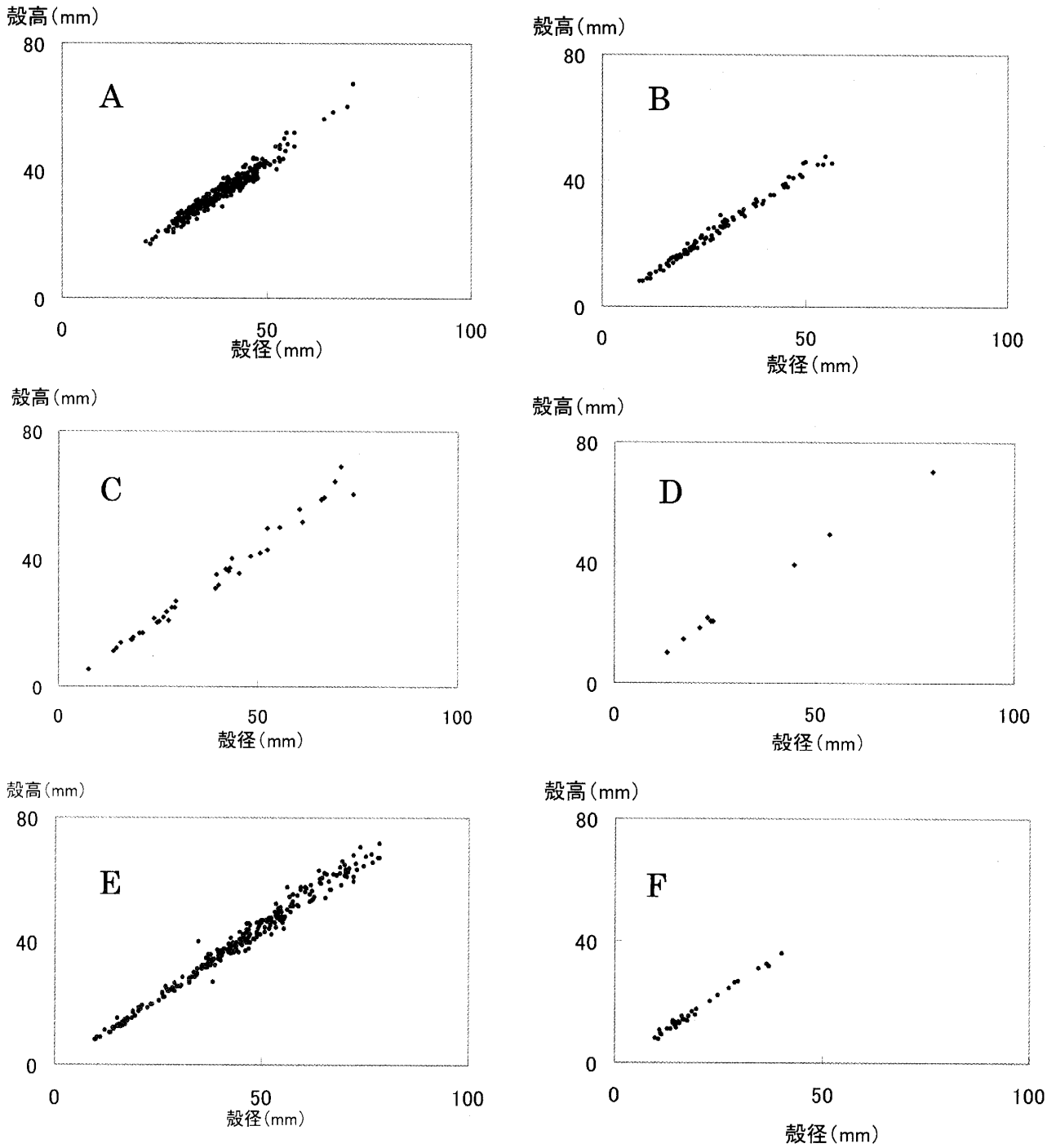


図5：ツメタガイの個体数とサイズ

A：油谷町大江 B：油谷町伊上キャンプ場 C：油谷町伊上YYビーチ
D：油谷町角山 E：油谷町綾湖 F：豊北町粟野川河口

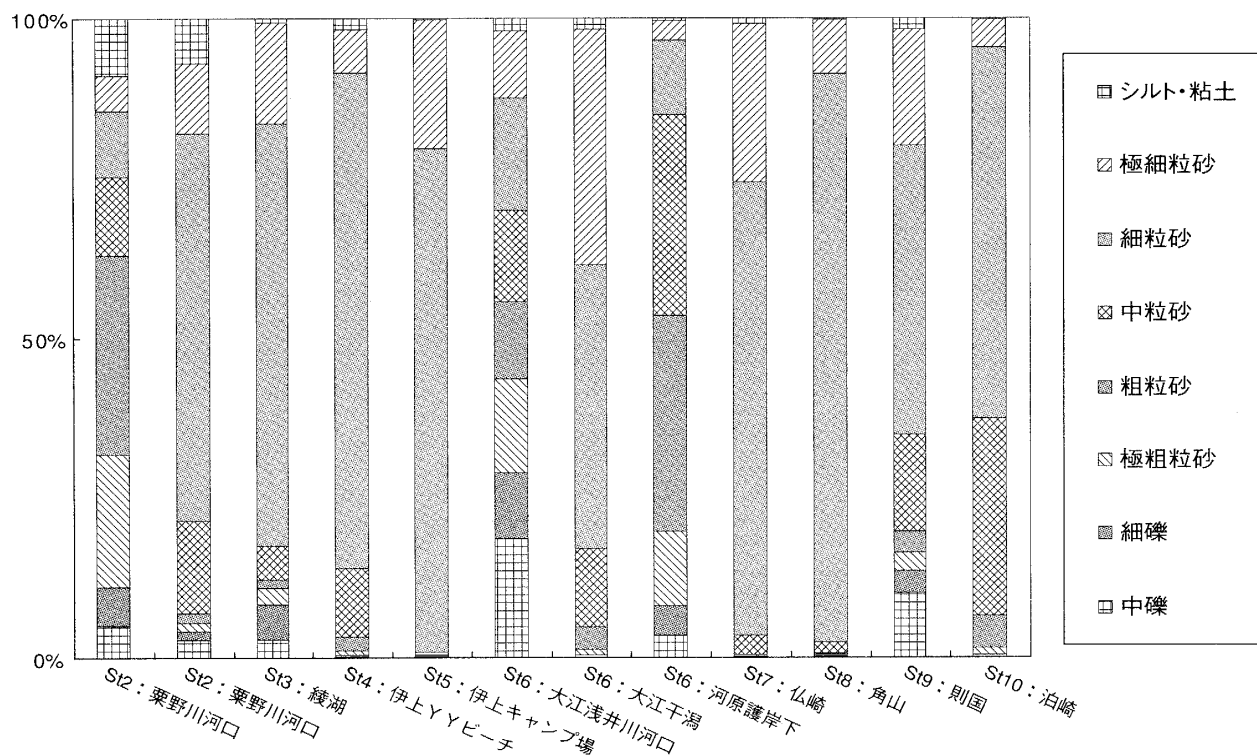


図6：調査地の粒度

議 論

今回の調査で油谷湾内から514種の貝類を確認した。これは北部目録に搭載された海産貝類のおよそ半数、山口県全域から確認されている貝類の約3割にあたり、種数の上では油谷湾が北浦海岸に於ける貝類多産地であることが明らかになった。

湾内で確認した貝類の分布系は、近接する油谷町川尻の調査結果よりも瀬戸内海に面する山口湾口部の調査結果（杉村，未発表）に近かった。油谷湾は日本海に面しているが、外洋水の影響が及びがたい閉塞性の高い環境を有していることを示唆している。この傾向は油谷湾の湾奥に進むにつれて顕著になり、例えば湾口部のCエリアでは熱帯系の貝類が11%を占めていたが、湾中部のBエリアでは6%、湾奥のAエリアでは5%と低下した。また、熱帯系貝類の指標に用いられるタカラガイ類の種類数もそれぞれ13種、4種、0種で、このことをよく示している。

今回確認された514種の52%にあたる265種が、各々のエリアにのみ見られる種であった。これは、同じ湾内であっても、貝類の種類は場所毎に大きく異なることを示している。エリア別にみると、Cエリアでは514種の29%にあたる148種、Bエリアでは12%の60種、Aエリアでは2%の8種がこれにあたり、湾奥に進むに従いその割合は低下していた。Aエリアで観察した貝類の大部分は、水温や塩分濃度等の勾配に比較的強い耐性を持ち、内湾や外洋を問わず広範な海域に生息する種で、湾内の各エリアの中で最も瀬戸内海の貝類相に近かった。このエリアにのみ見られる種はわずかに8種で、いずれも瀬戸内海側では普通種であった。また、マルウズラタマキビ、ヒモイカリナマコツマミガイは、日本海側では初の記録であった。他の種の多くも、嘗ては日本海全域の内湾で見られたが、現在ではこのエリアにのみ生息するものが少な

くない。例えば、イボウミニナ、ウミニナの大規模な個体群はその顕著な例である。

日本列島が大陸と地続きであった寒冷な時代に分布域を拡大し、その後の気候変動による島嶼化に伴って内湾奥にのみ遺存する大陸沿岸系の貝類が生息することは、福田ほか（1992）をはじめ、これまで何度も言及されてきた。しかし、これまでの調査ではそれをはっきりとは確認されていなかった。北部目録ではハイガイの生息を報じているが、古い死殻を確認したのみであった。アゲマキやササゲミエガイは日本海側では初の記録であった。しかし、古い死殻一個体だけで、おそらく既に大陸沿岸系の種群は消滅していると考えられる。

湾奥のAエリアに位置する大江干潟では二枚貝類が多産していた。二枚貝類の豊富さを示す指標として、ツメタガイの確認個体数や殻のサイズを調査した結果、他の調査地よりもかなり高い数値を得た。反対に最も低かったのは粟野川河口であった。貝類分布の主要な物理的要因である底質を分析した結果、調査地の大半は細粒砂を主体としていた。しかし、大江干潟ではさらに粒度の細かい極細粒砂の割合が細粒砂に拮抗しており、干潟の広い範囲にわたって同様な粒度組成であった。素足で踏み入れると、ふかふかとした心地よい感触で、肥沃な農地を連想させた。一方、粟野川河口の粒度は調査した5つの場所ごとに異なり多様であった。おそらく粟野川からの絶え間ない土砂の流入によって海底の粒度組成に変化が生じやすいことが、二枚貝類の生息に不安定要素として作用していると推測される。また、この海域では、時期による種相の変化が著しいのも、底質の急速な変化等による物理的な要因によるためかもしれない。

今回の調査で、山口県新記録として確認したものが29種あった。そのうちの11種は湾内の最深部-38mからドレッジによって採集したものであった。この深度に生息している貝類は観察が困難で、今回の調査で確認した貝類は、新種記載以来、ほとんど観察例のなかったものが含まれ、和田ほか（1996）によって絶滅あるいは絶滅寸前とランクづけされているものも少なくない。油谷湾内の潮下帯から上部浅海帯の貝類相を明らかにするためには、ドレッジを用いた詳細な調査が今後も必要である。

本稿作成にあたり、野外調査にご協力いただいた中村康博氏、有益なご助言をいただいた黒住耐二氏、久保弘文氏、木村昭一氏、貝類の同定にご協力いただいた池辺進一氏に感謝いたします。

引用文献

- 福田 宏・増野和幸・杉村智幸（1992）：概説山口県の貝類10+100+ xxvipp., 50pls. 山口県立山口博物館, (山口)
- 肥後俊一・後藤芳央（1993）：日本及び周辺地域産軟体動物総目録, 3 + 22 + 693pp + 13 + 148. エル貝類出版局, (八尾)
- 池田美成・多田武一（1963）：山口県北部地方貝類目録, 70pp. 萩市郷土博物館, (萩市)
- 河本卓介・田辺澄生（1956）：山口県産貝類目録, 8 + VIII + 170pp. 山口県立山口博物館, (山口)
- 和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島 哲・山西良平・西川輝昭・五嶋聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田宏（1996）：日本における干潟海岸とそこに生息する訂正生物の現状, WWF Japan Science Report, 3:1-182
- 西村三郎（1992）：原色検索 日本海岸動物図鑑 [I], 663pp. 保育社, (大阪)
- 奥谷喬司（編著）, 2000：日本近海産貝類図鑑, 1173pp. 東海大学出版会, (東京)

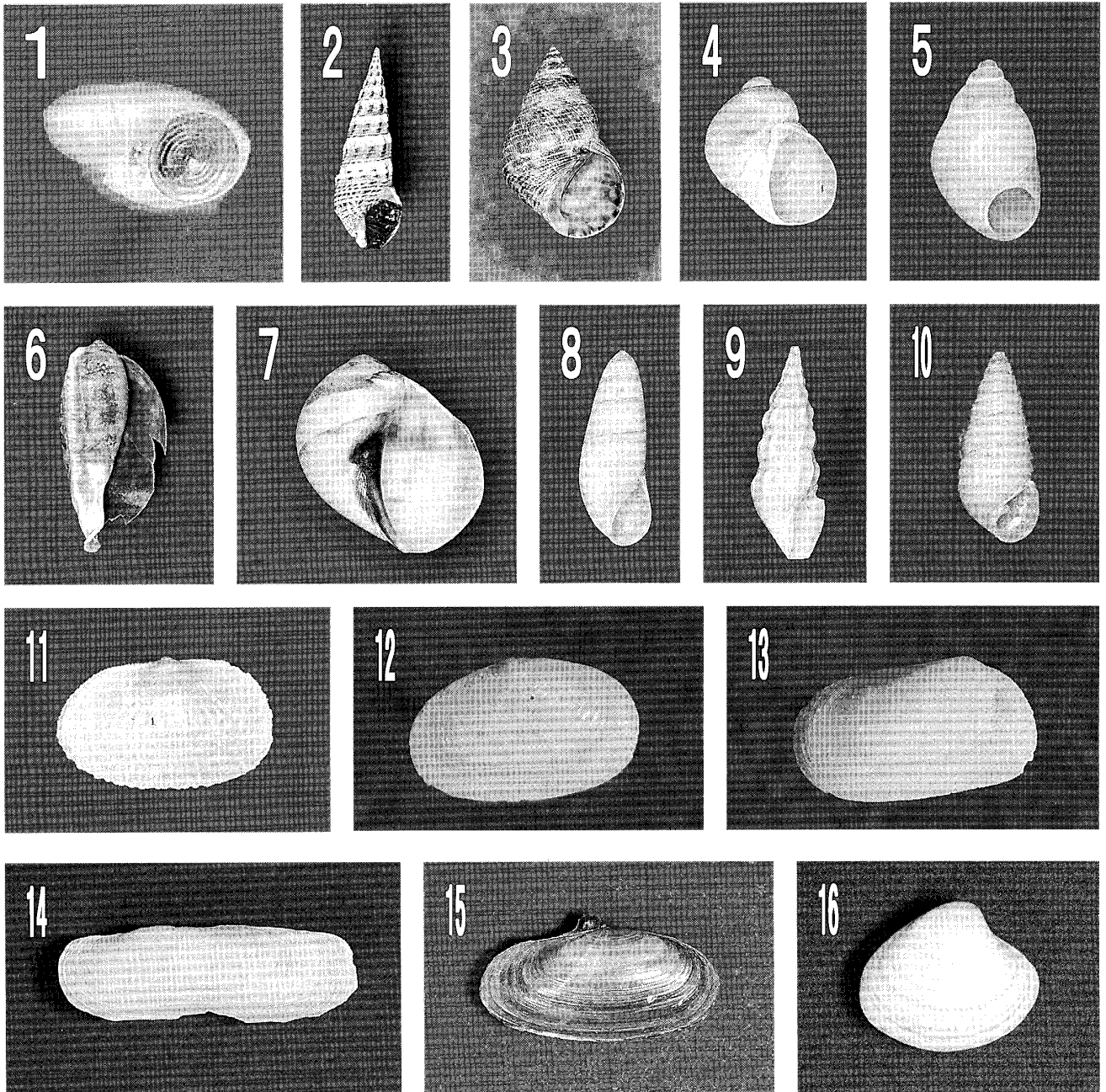


図7：注目すべき貝類

1 : *Leucorhynchia caledonica* オトギノスガイ 1.6×2.6mm. 2 : *Batillaria zonalis* イボウミニナ 34.7×11.8mm. 3 : *Littorina (palustorina) articulata* マルウズラタマキビ 11.7×7.9mm. 4 : *Stenotis cariniferus* モロハタマキビ 3.7×2.9mm. 5 : *Stenothyra edogawensis* ウミゴマツボ 2.7×1.5mm. 6 : *Mauritia (Arabica) arabica* ヤクシマダカラ 71.3×34.4mm. 7 : *Mammilla kurodai* オオネズミガイ 24.8×21.4mm. 8 : *Hypermatus lacteus* ヒモイカリナマコツマミガイ 5.0×1.7mm. 9 : *Cymatosyrinx parciplicata* ヒメモミジボラ 16.7×5.8mm. 10 : *Chrysallida stupa* ブットウクチキレ 4.6×1.7mm. 11 : *Galeomella utinomii* オウギウロコガイ 5.9×3.4mm. 12 : *Platommia rugata* オキナノエガオ 7.1×4.6mm. 13 : *Callommia matsuii* マツイガイ 9.9×5.5mm. 14 : *Sinonovacula constricta* アゲマキ 71.1×22.9mm. 15 : *Soletellina diplos* ムラサキガイ 79.5×38.4mm. 16 : *Pitar (Pitarina) japonicum* ウスハマグリ 32.4×29.0mm.

資料1 油谷湾で確認された貝類	確認地点				油谷湾で確認された貝類 つづき1	A B C D			
	A	B	C	D		A	B	C	D
					<i>Trochus (Trochus) sacellum rota</i> ウズイチモンジ			nD	nD
Class Polyplacophora 多板綱					<i>Trochus pyramis</i> ギンタカハマ				a
Family Ischinchitonidea ウスヒザラガイ科					<i>Clanculus margaritarius</i> ナツモモ			nD	nD
<i>Lepidozona coreanica</i> ヤスリヒザラガイ			a		<i>Clanculus (Mesoclanculus) microdon</i> クロマキアゲエビス			nD	nD
<i>Inchnochiton comptus</i> ウスヒザラガイ			a		<i>Monodonta (Monodonta) labio form confusa</i> インダタミ	a	a	a	
Family Chitonidae クサズリガイ科					<i>Monodonta (Neomonodonta) neritoides</i> クロツケガイ	a	a	a	
<i>Onitthochiton hirasei</i> ニシキヒザラガイ			a		<i>Cantharidus japonicus</i> チグサガイ			nD	nD
<i>Acanthopleura japonica</i> ヒザラガイ	a	a	a		<i>Iwakawatrochus urbanus</i> イワカワチグサ			nD	nD
Family Acanthochitonidae ケハダヒザラガイ科					<i>Komaitrochus pulcher</i> コマイチグサ				nD
<i>Acanthochitona defilippii</i> ケハダヒザラガイ	a	a	a		<i>Alcyna ocellata</i> キバベニバイ			nD	nD
<i>Acanthochitona rubrolineatus</i> ヒメケハダヒザラガイ	a	a	a		<i>Stomatolina rubra</i> アシヤガマ			nD	nD
<i>Cryptoplax japonica</i> ケムシヒザラガイ			a		<i>Stomatia (Stomatia) phymotis</i> フルヤガイ			nD	nD
Class Gastropoda 腹足綱					<i>Calliostoma (Calliostoma) unicum</i> エビスガイ			nD	nD
Family Patellidae ツタノハガイ科					<i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i> イボキサゴ	mD	mD	mD	
<i>Patella (Patella) flexuosaflexuosa</i> ツタノハ				nD	<i>Umbonium costatum</i> キサゴ				oD
Family Nacellidae ヨメガカサガイ科					<i>Ethminolia stearnsii</i> キヌシタダミ				nD
<i>Cellena grata</i> ベッコウガサガイ			a	a	<i>Conotalopia ornata</i> ヒナシタダミ			nD	nD
<i>Cellena nigrolineata</i> マツノバガイ			a	a	<i>Conotalopia mustelina</i> アワジチグサ				nD
<i>Cellana toreuma</i> ヨメガカサ			a	a	Family Skeneidae ワタゾシダタミ科				
Family Lottiidae ユキノカサガイ科					<i>*Leucorhynchia caledonica</i> オトギノスガイ				a
<i>Patelloida saccharina lanx</i> ウノアシ			a	a	Family Neritidae アマオブネガイ科				
<i>Patelloida pygmaea pygmaea</i> シボリガイ			a		<i>Nerita (Heminerita) japonica</i> アマガイ	a	a	a	
<i>Patelloida signatoides</i> シボリガイモドキ			a		<i>Neritina (Dostia) violacea</i> ヒロクチカノコ				a
<i>Lottia (Kikukozara) langfordi</i> キクコザラ			a	a	<i>Clithon retropictus</i> イシマキガイ	a	a	a	
<i>Patelloida pygmaea</i> ヒメコザラ			a	a	<i>Theodoxus (Pictoneritina) paulucciana</i> キンランカノコ	nD	nD		
<i>Patelloida conulus</i> ツボミガイ			a	a	<i>Smaragdia</i> sp. ウミヒメカノコ				nD
<i>Lottia (Lottia) dorsuosa</i> カモガイ			a		Family Phenacolepadidae ユキスズメガイ科				
<i>Lottia (Lottia) kogamogai</i> コガモガイ			nD		<i>Phenacolepas unguiformis</i> ツナメリミヤコドリ			mD	mD
<i>Lottia (Lottia) lindbergi</i> オボロヅキコガモガイ			a		<i>Phenacolepas</i> sp. ヒナユキスズメ				nD
<i>Lottia (Lottia) tenuisculpta</i> コモレビコガモガイ			a		<i>Cinnalepa pulchella</i> ミヤコドリ				nD
<i>Nipponacmea schrenckii schrenckii</i> アオガイ			a	a	Family Cerithiidae オニツノガイ科				
<i>Nipponacmea schrenckii gloriosa</i> サクラアオガイ			nD		<i>Cerithium (Cerithium) kobelti</i> コベルトカニモリ(コオロギ)				a
<i>Nipponacmea fuscoviridis</i> クサイロアオガイ			a	a	<i>Cerithium (Cerithium) dialeucum</i> ホソヤカカニモリ				nD
<i>Nipponacmea concinna concinna</i> コウダカアオガイ			a	a	<i>Rhinoclavis (Proclava) kochi</i> カニモリガイ				a
<i>Nipponacmea concinna teramachii</i> ホソスジアオガイ			a		<i>Bittium (Bittium) glareosum</i> ノミカニモリ			nD	nD
Family Haliotidae ミミガイ科					<i>Ittibittium parcum parcum</i> オオシマチグサカニモリ			nD	nD
<i>Sulculus diversicolor aquatilis</i> トコブシ			nD		Family Litiopidae ウキツボ科				
<i>Nordotis gigantea</i> メガイアワビ			nD		<i>Litiopa melanostoma</i> ウキツボ			nD	nD
<i>Nordotis discus discus</i> クロアワビ			nD		<i>Styliferina goniocula</i> ハリウキツボ			nD	nD
Family Scissurellidae クチキレエビス科					<i>Alaba picta</i> シマハマツボ	a	a	a	
<i>Scissurella staminea</i> クチキレエビス			nD		<i>Alaba hungerfordi</i> ウネハマツボ			nD	nD
<i>Sukashitrochus carinatus</i> スカシエビス			nD		Family Obtortionidae モツボ科				
Family Fissurellidea スカシガイ科					<i>Cerithidium fusca</i> スノメツボ			mD	mD
<i>Emarginula crassicostata</i> スソキレガイ			nD		<i>Eufenella pupoides</i> モツボ (サナギモツボ)	mD	mD		
<i>Emarginella incisula</i> ゾウリスソキレ			oD		<i>Eufenella rufocincta</i> シマモツボ			nD	nD
<i>Scutus (Aviscutum) sinensis</i> オトメガサガイ			nD		<i>Eufenella subpellucida</i> ツヤモツボ			nD	nD
<i>Rimula cumingii</i> セムシマドアキガイ			nD		Family Scaliolidae スナモチツボ科				
<i>Diodora sieboldi</i> クズヤガイ			nD	nD	<i>Scaliola bella</i> スナモチツボ			mD	mD
<i>Diodora quadriradiatus</i> テンガイ			nD	nD	<i>Scaliola glareosa</i> チビスナモチツボ			mD	mD
<i>Macroschisma sinense</i> スカシガイ			nD	nD	<i>Scaliola gracilis</i> ホソスナモチツボ			mD	mD
Family Turbinidae サザエ科					Family Potamididae フトヘナタリ科				
<i>Neocollonia pilula pilula</i> サンショウスガイ			nD		<i>Cerithidea rhizophorarum</i> フトヘナタリ				oD
<i>Turbo (Batillus) cornutus</i> サザエ			a	a	<i>Cerithidea ornata</i> シマヘナタリ				oD
<i>Turbo (Lunella) cornatus coreensis</i> スガイ			a	a	<i>Cerithideopsis cingulata</i> ヘナタリ				oD
<i>Astraliium (Astraliium) haematragum</i> ウラウズガイ			nD		<i>Cerithideopsis djarjariensis</i> カワアイ				oD
<i>Tricolia variabilis</i> ベニバイ			nD	nD	Family Batillariidae ウミニナ科				
<i>Phasianella solida</i> サラサバイ			nD	nD	<i>Batillaria zonalis</i> イボウミニナ	a			oD
Family Trochidae ニシキウズガイ科					<i>Batillaria multiformis</i> ウミニナ	a			oD
<i>Chlorostoma lischkei</i> クボガイ			a	a	<i>Batillaria cumingi</i> ホソウミニナ	a	a	a	
<i>Chlorostoma turbinatum</i> ヘソアキクボガイ			nD		Family Turritellidae キリガイダマシ科				
<i>Omphalium rusticum rusticum</i> コンダカガンガラ			a	a	<i>Haustator (Kurosoia) cingulifera</i> ヒメキリガイダマシ				mD
<i>Omphalium pfeifferi carpenteri</i> オオコンダカガンガラ			mD		Family Littorinidae タマキビ科				
<i>Omphalium nigerrimus</i> ヒメクボガイ			mD		<i>Littorina (Littorina) brevicula</i> タマキビ	a	a	a	
<i>Granata lyrara</i> アシヤガイ			nD	nD	<i>Nodilittorina vidua</i> タイワンタマキビ				a
<i>Euchelus rubra</i> カバサンショウガイモドキ			nD	nD	<i>Nodilittorina radiata</i> アラレタマキビ	a	a	a	
<i>Euchelus lischekei</i> サンショウガイモドキ			nD	nD	<i>Littorina (palustorina) articulata</i> マルウズラタマキビ	a			

油谷湾の貝類

油谷湾で確認された貝類 つづき2	A B C D	油谷湾で確認された貝類 つづき3	A B C D
<i>Peasiella habeii</i> コビトウラウス	a a a	<i>Natica burasiansis</i> カスミコダマガイ	nD nD nD
* <i>Stenotis cariniferus</i> モロハタマキビ	mD	<i>Natica gualtieriana</i> ホウシュノタマ	a
Family Elachisinidae サザナミツボ科		<i>Naticarius concinnus</i> フロガイダマシ	a
<i>Elachisina ziczac</i> サザナミツボ	mD	<i>Naticarius excellens</i> ヒメフロガイ	mD
Family Assimineidae カワザンシヨウガイ科		<i>Cyptonatic (Cyptonatic) adamsiana</i> アダムスタマガイ	mD a
<i>Angustassiminea satumana</i> サツマクリイロカワザンシヨウ	nD nD	<i>Cyptonatic (Sulconatic) janthostomoides</i> エソタマガイ	mD
<i>Angustassiminea yoshidayukioi</i> ヨシダカワザンシヨウ	nD nD	<i>Cyptonatic tigrina</i> ゴマフダマ	oD
<i>Assiminea japonica</i> カワザンシヨウ	a nD	<i>Eunaticina papilla papilla</i> ネコガイ	nD nD nD
<i>Assiminea parasitologica</i> ムシヤドリカワザンシヨウ	nD nD	Family Ficidae ビワガイ科	
<i>Paludinellassiminea japonica</i> ヘソカドガイ	nD nD nD	<i>Ficus subintermedia</i> ビワガイ	nD
Family Truncatellidae クビキレガイ科		Family Tonnidae ヤツシロガイ科	
<i>Truncatella pfeifferi</i> キュウシュウクビキレガイ	a a	<i>Tonna tessellata</i> ウズラミヤシロ	oD
Family Rissoidae リソツボ科		Family Cassidae トウカムリ科	
<i>Alvania concinna</i> タマツボ	nD nD	<i>Phalium flammiferum</i> カズラガイ	oD
<i>Alvania ogasawarana</i> オガサワラリソツボ	nD nD	<i>Semicassis bisulcata</i> ウラシマガイ	oD
<i>Rissoina (Rissoina) costulata</i> スジウネリチヨウジガイ	mD mD	Family Ranellidae フジツガイ科	
<i>Rissoina (Phosinella) pura</i> ノメチヨウジガイ	mD mD	<i>Cymatium (Linatella) cynocephalum</i> シゲトウボラ	mD mD a
Family Barleeidae チャツボ科		<i>Cymatium (Monoplex) pileare</i> シノマキ	nD
<i>Barleeia angustata</i> チャツボ	nD nD	Family Atlantidae クチキレウキガイ科	
Family Vitrinellidae イソコハクガイ科		* <i>Atlanta peroni</i> クチキレウキガイ	nD nD
<i>Pseudoliotia pulchella</i> シラギクガイ	mD mD mD	Family Triphoridae ミツクチキリオレ科	
<i>Sigaretornus planus</i> イソマイマイ	mD	<i>Mastonia limosa</i> クリイロキリオレ	mD mD mD
<i>Pygmaeorota duplicata</i> アラウズマキ	mD mD mD	Family Cerithiopsidae クリイロケシカニモリ科	
Family Stenothyridae ミズゴマツボ科		<i>Cerithiopsis subreticulata</i> アミメケシカニモリ	mD
<i>Stenothyra edogawensis</i> ウミゴマツボ	oD oD	Family Janthinidae アサガオガイ科	
Family Strombidae ソデボラ科		<i>Janthina (Violetta) exigua</i> ルリガイ	nD
<i>Terebellum terebellum delicatum</i> ウストンボガイ	mD	Family Epitoniidae イトカケガイ科	
<i>Doxander marginata robusta</i> フドロ	oD	<i>Variciscala (Filiscala) immaculata</i> キヌイトカケ	oD
<i>Doxander vittatus japonicus</i> シドロガイ	a a	<i>Turbiniscala replicata</i> ハスイトカケ	mD
<i>Cononurex luhuanus</i> マガキガイ	a	<i>Laveiscala angusta</i> シノブガイ	nD nD
Family Hipponicidae スズメガイ科		<i>Spiniscala japonicum</i> ヒメネジガイ	nD nD nD
<i>Hipponix conica</i> キクスズメ	nD nD	<i>Depressiscala aurita</i> オダマキ	mD mD
<i>Hipponix (Antisabia) foliacea</i> カワチドリガイ	nD	<i>Papyriscala yokoyamai</i> セキモリ	nD nD
Family Calyptraeidae カリバガサ科		<i>Papyriscala</i> sp.A クレハガイ	nD nD nD
<i>Crepidula (Crepidula) onyx</i> シマメノウフネガイ	nD	<i>Alexania inazawai</i> イナザワハベガイ	nD a
<i>Crepidula (Bostrycapulus) gravispinosus</i> アフブネ	nD	<i>Spiniscala</i> sp.A ナガヒメネジガイ	nD nD
<i>Crepidula (Ergaea) walshi</i> ヒラフネガイ	nD	Family Acilididae センマイドオシ科	
Family Capulidae カツラガイ科		<i>Acilis crystallina</i> ホソセンマイドオシガイ	mD
<i>Separatista helicoides</i> サワラビ	mD	Family Eulimidae ハナゴウナ科	
Family Vermetidae ムカデガイ科		<i>Eulima maria</i> シロバリゴウナ	mD
<i>Vermetus renisectus renisectus</i> ムカデガイ	a	<i>Melanella robusta</i> イキオイクリムシ	mD mD
<i>Serpulorbis imbricatus</i> オオヘビガイ	a a	<i>Melanella yamazii</i> ヤマジクリムシ	mD
Family Cypraeidae タカラガイ科		<i>Vitreobalcis akauni</i> アカウニヤドリニナ	nD
<i>Staphylaea (Staphylaea) staphylaea</i> サメダカラ	mD mD	<i>Hypermatius lacteus</i> ヒモイカリナマコツマミガイ	a
<i>Staphylaea (Staphylaea) limacina</i> シボリダカラ	mD mD	Family Muricidae アツキガイ科	
<i>Adusta onyx</i> クチグロキヌタ	nD	<i>Ceratostoma burnetti</i> ヒレガイ	oD
<i>Palmadusta artuffeli</i> チャイロキヌタ	nD	<i>Bedevea birileffi</i> カゴメガイ	a nD mD
<i>Purpuradusta (Purpuradusta) gracilis</i> メダカラ	nD nD	<i>Ergalatax contractus</i> ヒメヨウラク	a a
<i>Mauritia (Arabica) arabica</i> ヤクシマダカラ	oD	<i>Thais (Reishia) bronni</i> レイシガイ	a a
<i>Erosaria erosa</i> コモンダカラ	oD	<i>Thais (Reishia) clavigera</i> イボニシ	a a a
<i>Erosaria miliaris</i> ハツユキダカラ	nD	<i>Rapana venosa venosa</i> アカニシ	a mD a
<i>Erosaria helvola</i> カモンダカラ	nD	Family Buccinidae エソバイ科	
<i>Ravitronea caputserpentis</i> ハナマルユキ	nD nD	<i>Kelletia lischkei</i> ミガキボラ	mD
<i>Monotaria (Monotaria) moneta moneta</i> キイロダカラ	oD	<i>Enzinopsis menkeana</i> ナガボマフホラダマシ	oD
<i>Monotaria (Ornamentaria) annulus</i> ハナビロダカラ	mD	<i>Balytonia japonica</i> バイ	mD mD mD
<i>Cypraea (Mystaponda) vitellus</i> ホシキヌタ	nD	Family Columbellidae タモトガイ科	
Family Triviidae シラタマガイ科		<i>Euplica scripta</i> フトコロガイ	nD
<i>Proterato (Sulcerato) callosa</i> サクロガイ	mD mD	<i>Pyrene flava</i> ムシエビ	nD
Family Velutinoidae ハナズトガイ科		<i>Pyrene testudinaria tylerae</i> マツムシ	nD
<i>Lamellaria (Lamellaria) kiiensis</i> キシュウベッコウタマガイ	nD nD	<i>Mitrella bicincta</i> ムギガイ	nD nD
Family Naticidae タマガイ科		<i>Pyreneola semipicata</i> カゲロウマツムシ	nD nD
<i>Lunatia bathyraphe</i> オリイレシラタマ	mD mD	<i>Zafa (Zafa) mitriformis</i> ノミニナモドキ	nD nD nD
<i>Polinices sagamiensis</i> ウチヤマタマツバキ	nD	<i>Zafa (Zafa) pumila</i> ノミニナ	nD
<i>Glossaulax didyma didyma</i> ツメタガイ	a a a	<i>Zafa (Zafa) sinensis</i> ケシマツムシ	nD nD
<i>Glossaulax vesicalis</i> ヒメツメタ	nD nD nD	<i>Zafa (Zafa) hahajimana</i> ハハジマノミニナ	nD nD
* <i>Mammilla kurodai</i> オオネズミガイ	mD	<i>Columbellopsis lischkei</i> シラゲガイ	nD nD

油谷湾で確認された貝類 つづき4	A B C D	油谷湾で確認された貝類 つづき5	A B C D
Family Nassariidae オリイレヨフバイ科		<i>Chrysalida stupa</i> ブツウチキレ	mD
* <i>Plicarcularia</i> <i>bellula</i> カニノテムシロ	oD	<i>Iolaea neofelixoides</i> トウガタチリメンクチキレ	mD
<i>Nassarius conoidalis</i> アラレガイ	a	<i>Syrmola cincitella</i> ホソクチキレ	mD
<i>Nassarius livescens</i> ムシロガイ	nD nD a	<i>Colsyrnola brunnea</i> チャイロクチキレ	mD
<i>Nassarius sufflatus</i> ヨフバイ	mD	<i>Styloptygma taeniatum</i> スジイリクリムシクチキレ	mD
<i>Zeuxis castus</i> ハナムシロ	oD	<i>Agatha virgo</i> ミガクチキレ	mD
<i>Hima festivus</i> アラムシロ	a a a	<i>Chemnitzia kidoensis</i> キドイトカケギリ	mD mD
<i>Hima paupera</i> ナミヒメムシロ	nD nD	<i>Chemnitzia</i> sp.	mD
<i>Hima fratercula fratercula</i> クロスジムシロ	nD nD	<i>Turbonilla kuraenohamana</i> クラエノハマイトカケギリ	mD
<i>Hima multigranosa</i> ヒメムシロ	nD nD	<i>Pygiscilla</i> sp.	mD
<i>Hima</i> sp. キヌボラ	nD nD	<i>Pyrgiscilla yoritomoi</i> イソイトカケギリ	mD
Family Melongenidae テングニシ科		<i>Pyrgolampros hiradoensis hiradoensis</i> ホソイトカケギリ	mD
<i>Pugilina</i> (<i>Semifusus</i>) <i>tuba</i> テングニシ	mD	<i>Pyrgolampros fulvizonata</i> フタオビイトカケギリ	mD
Family Fasciolaridae イトマキボラ科		<i>Paramormula aulica</i> チャイロイトカケギリ	mD
<i>Fusinus perplexus</i> ナガニシ	mD	<i>Pselliogyra pagodula</i> マキミゾイトカケギリ	mD
<i>Fusinus ferrugineus</i> コナガニシ	a a	<i>Dunkeria shigeyasui</i> シゲヤスイトカケギリ	a
Family Olividae マクラガイ科		<i>Cingulina cingulata</i> ヨコイトカケギリ	a a
<i>Olivella fulgurata</i> ムシボタル	nD nD	<i>Monotygmia eximia</i> ヒメゴウナ	nD
Family Cystiscidae コゴメガイ科		Family Amathinidae イソチドリガイ科	
<i>Granulina tantilla</i> タカラコゴメガイ	mD	<i>Amathina tricarinata</i> イソチドリ	mD
Family Costellariidae ミノムシガイ科		<i>Leucotina dianae</i> マキモノガイ	mD mD
<i>Vexillum</i> (<i>Costellaria</i>) <i>gotoensis</i> ゴトウツクシ	mD	Family Acteonidae オオシイノミガイ科	
<i>Vexillum</i> (<i>Pusia</i>) <i>inermis inermis</i> ヒゼンツクシ	mD	<i>Japanacteon nipponensis</i> ムラクモキジビキガイ	nD nD nD
<i>Vexillum</i> (<i>Pusia</i>) <i>aemula</i> シイノミツクシ	mD	<i>Pupa</i> (<i>Strigopupa</i>) <i>strigosa</i> コシイノミガイ	mD mD
Family Cancellariidae コロモガイ科		Family Aplustridae ミスガイ科	
<i>Momoebora sinensis</i> モモエボラ	mD	<i>Bullina lineata</i> ベニシボリ	oD
<i>Sydaphera spengleriana</i> コロモガイ	oD	Family Ringiculidae マメウラシマガイ科	
<i>Habesolatia nodulifera</i> トカシオリレ	mD	<i>Ringicula</i> (<i>Ringiculina</i>) <i>kurodai</i> クロダマメウラシマ	nD nD nD
Family Drillidae ツノクダマキ科		Family Retusidae ヘコミツラガイ科	
<i>Tyloitiella japonica</i> オハグロシヤジク	a	<i>Decorifer</i> (<i>Decorifer</i>) <i>insignis</i> コメツブガイ	mD
* <i>Cymatosyrinx parviclata</i> ヒメモミジボラ	nD	<i>Decorifer</i> (<i>Decorifer</i>) <i>matsusimanus</i> マツシマコメツブガイ	mD
Family Turridae クダマキガイ科		<i>Sulcoretusa minima</i> ヒメコメツブ	mD
<i>Lophiotoma</i> (<i>Lophiotoma</i>) <i>indica</i> マダラクダマキ	oD	<i>Volvulella eburnea</i> マメヒガイ	mD
<i>Plicisyrinx consimilis</i> ヒメシヤジク	mD	Family Philinidae キセワタガイ科	
<i>Funa jeffreysi</i> モミジボラ	a a a	<i>Philina argentata</i> キセワタ	nD
Family Conidae イモガイ科		<i>Philina vitrea</i> ウスキセワタ	nD
<i>Tomopleura nivea</i> マキモノシヤジク	mD	Family Cylichnidae カイコガイダマシ科	
<i>Etrema</i> (<i>Etrempoa</i>) <i>subauriformis</i> スノメシヤジク	mD	<i>Adamnestia japonica</i> クダタマガイ	nD
<i>Venustoma lacunosa</i> シロヌノメツブ	mD	Family Acteocinidae オオコメツブガイ科	
<i>Cytharopsis radulina</i> ヤスリコトツブ	mD	<i>Acteocina</i> (<i>Acteocina</i>) <i>gordonis</i> ゴルドンコメツブ	mD mD
<i>Hemicythara octangulata</i> ハツカクフタナシシヤジク	nD nD	<i>Retusa</i> (<i>Coleophsis</i>) <i>succincta</i> ヘコミツラ	mD
<i>Pseudoetrema fortillirata</i> ホソシヤジク	mD	<i>Cylichnatis angusta</i> カミスジカイコガイダマシ	mD
<i>Guraleus deshayesii</i> スソチャマンジ	nD	Family Bullidae ナツメガイ科	
<i>Guraleus semicarinata</i> カタカドマンジ	nD	<i>Bulla ventricosa</i> ナツメガイ	a
<i>Guraleus kamakurana</i> カマクラマンジ	nD	Family Haminoeidae ブドウガイ科	
<i>Pseudorhaphitoma pyramis</i> ムカドケボリクチキレ	mD	<i>Haloa</i> (<i>Haloa</i>) <i>japonica</i> ブドウガイ	nD
<i>Cythereella costulata</i> シマハナシコトツブ	nD	<i>Liloa porcellana</i> カイコガイダマシ	mD
<i>Philiberita</i> (<i>Pseudodaphnella</i>) <i>leuckarti</i> クリイロマンジ	mD	* <i>Limatulys constrictus</i> クビレタマゴガイ	mD
<i>Daphnella</i> (<i>Daphnella</i>) <i>interrupta</i> フデシヤジク	nD nD	Family Siphonariidae カラマツガイ科	
<i>Conus</i> (<i>Chelyconus</i>) <i>fulmen</i> ベッコウイモ	mD mD	<i>Siphonaria</i> (<i>Sacculosiphonaria</i>) <i>japonica</i> カラマツガイ	a a
Family Terebridae タケノコガイ科		Family Ellobiidae オカミミガイ科	
<i>Terebra bathyraphe</i> イボヒメトクサ	nD	<i>Ellobium chinense</i> オカミミガイ	nD oD oD
<i>Terebra subtextilis</i> シラタケ	mD	<i>Auriculastra duplicata</i> ナラビオカミミガイ	a
<i>Terebra taylori</i> ムラサキタケ	mD	<i>Pythia cecillei</i> オキヒラシイノミガイ	mD mD
<i>Hastula</i> (<i>Hastula</i>) <i>rufopunctata</i> シチクガイ	mD	<i>Cassidula plecotrematoides japonica</i> シイノミミガイ	a mD nD
Family Pyramidellidae トウガタガイ科		<i>Laemodonta exaratoidea</i> ウスコミミガイ	nD nD nD
<i>Orinell pulchell</i> クチキレガイ	nD nD	<i>Microtralia acteocinoides</i> ナギサノシタリ	a
<i>Rugadentia</i> sp.	oD	<i>Melampus</i> (<i>Melampus</i>) <i>sincaporensis</i> キヌカツギハマシイノミ	oD
<i>Odstomia desimana</i> クチキレモドキ	nD nD	<i>Melampus</i> (<i>Melampus</i>) <i>nuxcastaneus</i> ハマシイノミガイ	a
<i>Pyrgulina</i> sp.	mD	Class Bivalvia 二枚貝綱	
<i>Pyrgulina pseudalveata</i> ムシロイトカケギリ	mD	Family Nucinelidae クルミガイモドキ科	
<i>Pyrgulina</i> sp.	mD	<i>Nucula paulula</i> マメグルミ	a
<i>Megastomia</i> sp.	mD	Family Solemyidae キヌタレガイ科	
<i>Marginodostomia</i> sp.	mD	<i>Paetrasma pusilla</i> キヌタレガイ	a
<i>Sinuatodostomia nomurai</i> イオウクチキレモドキ	nD	Family Nuculanidae ロウバイ科	
<i>Bastula caelator</i> クサズリクチキレ	mD	<i>Saccella</i> (<i>Saccella</i>) <i>sematensis</i> アラスジソデ	oD

油谷湾の貝類

油谷湾で確認された貝類 つづき6	A B C D	油谷湾で確認された貝類 つづき7	A B C D
Family Mytilidae イガイ科		Family Spondylidae ウミギク科	
<i>Mytilus galloprovincialis</i> ムラサキイガイ	a a	<i>Spondylus (Spondylus) barbatus barbatus</i> ウミギク	mD nD
<i>Septifer (Septifer) bilocularis</i> クジャクイガイ	a a a	<i>Spondylus (Spondylus) barbatus oruentus</i> チリボタン	nD
<i>Septifer (Mytilisepta) virgatus</i> ムラサキイコガイ	a a	Family Anomiidae ナミマガシワ科	
<i>Septifer (Mytilisepta) keeni</i> ヒメイガイ	a a	<i>Anomia chinensis</i> ナミマガシワ	a a a
<i>Modiolus (Modiolus) agripetus</i> ヒバリイガイ	a a	Family Chamidae キクザルガイ科	
<i>Modiolus (Modiolus) comptus</i> ビロウドマクラ	a	<i>Chama ambigua</i> ヒトエギク	mD
<i>Modiolus (Fulgida) flavidus</i> サザナミマクラ	a a	<i>Chama japonica</i> キクザル	a a
<i>Hormomya mutabilis</i> ヒバリイガイモドキ	a a	<i>Pseudochama retroversa</i> サルノカシラ	nD a
<i>Xenostrobus atratus</i> クログチ	a	Family Lucinidae ツキガイ科	
<i>Gregariella coralliophaga</i> チヂミタマエガイ	a a a	<i>Pillucina (Pillucina) pisidium</i> ウメノハナガイ	a a
<i>Musculus cupreus</i> タマエガイ	a a	<i>Pillucina (Pillucina) neglecta</i> コボレウメ	a a
<i>Musculista senhousia</i> ホトトギス	a a a	<i>*Pillucina (sydlorina) yamakawai</i> アラウメノハナ	mD
<i>Musculista japonica</i> ヤマホトトギス	a a	<i>Wallucina striata</i> チヂミウメ	mD
<i>Lithophaga (Leiosolenus) curta</i> イシマテ	a	<i>Lucinoma acutilineatum</i> ツキガイモドキ	oD
Family Arcidae フネガイ科		<i>Anodontia stearnsiana</i> イセシラガイ	oD nD a
<i>Arca navicularis</i> ワシノハガイ	a a	Family Thyasiridae ハナシガイ科	
<i>Arca avellana</i> フネガイ	a a	<i>Leptaxinus oyamai</i> マルハナシガイ	nD nD
<i>Arca boucardi</i> コベルトフネガイ	a a	<i>Axinopsida subquadrata</i> ユキヤナギガイ	oD
<i>Barbatia (Abarbatia) decussata</i> エガイ	a a	Family Ungulinidae フタバシラガイ科	
<i>Barbatia (Savignyarca) virescens</i> カリガネエガイ	a a	<i>Cycladicama cumingii</i> シオガマ	mD
<i>Barbatia (Ustularca) stearnsii</i> ハナエガイ	nD	<i>*Cycladicama tsuchii</i> アツシオガマ	a
<i>Trisidos kiyonoi</i> ビョウフガイ	oD oD	<i>*Felaniella (Felaniella) sowerbyi</i> ウメノハナガイモドキ	a a a
<i>Scapharca inaequivalvis</i> クイチガイサルボウ	nD a	<i>Phlyctiderma japonicum</i> ヤエウメ	nD nD
<i>Scapharca satowi</i> サトウガイ	mD	Family Galeommatidae ウロコガイ科	
<i>Scapharca sativa</i> サルボウ	nD nD	<i>*Galeomella utinomii</i> オウギウロコガイ	nD
<i>Diluvarka ferruginea</i> ハゴロモガイ	mD	<i>*Scintilla violescens</i> イナズマママアゲマキ	oD
<i>Tegillarca granosa</i> ハイガイ	oD oD oD	<i>*Devonia (Ohshimaia) semperi</i> ヒナノズキン	nD
Family Noetiidae サンカクサルボウ科		Family Lasaeidae チリハギガイ科	
<i>Striarca symmetrica</i> ミミエガイ	a a	<i>Lasaea undulata</i> チリハギ	a a
<i>Veriliarca interplicata</i> ヨコヤマミミエガイ	mD	<i>Squillaconcha sp.</i>	oD
<i>Estellacar olivacea</i> ササゲミエガイ	oD	Family Kelliidae コハクノツユガイ科	
Family Cucullaeidae ノメアカガイ科		<i>*Kelliidae subrotundata</i> スモモノハナガイ	mD
<i>Cucullaea labiata granulosa</i> ノメアカガイ	oD	<i>Kellia porculus</i> コハクノツユ	nD nD nD
Family Glycymerididae ベンケイガイ科		<i>*Kellia tsujitai</i> ツジタコハクノツユ	mD
<i>Oblimopa japonica</i> シラスナガイ	mD	<i>*Byssobornia adamsi</i> セワケガイ	mD
<i>Glycymeris aspersa</i> タマキガイ	mD	Family Leptonidae オキナノエガオ科	
Family Pteriidae ウグイスガイ科		<i>*Platomyia rugata</i> オキナノエガオ	mD
<i>Pinctada radiata</i> アコヤガイ	a a a	Family Montacutidae ブンブクヤドリガイ科	
Family Isognomonidae マクガイ科		<i>*Montacuta tanakai</i> タナカマルヤドリガイ	mD
<i>Isognomon legumen</i> シロアオリガイ	a	<i>Nipponomyssella oblongata</i> マルヘノジガイ	mD mD
Family Malleidae シュモクガイ科		<i>Callomyssia matsuii</i> マツイガイ	mD
<i>Vulsella Vulsella</i> ホウオウガイ	a mD a	<i>Callomyssia sp.</i>	mD
Family Pinnidae ハボウキガイ科		Family Carditidae トマヤガイ科	
<i>Pinna (Cyrtopinna) bicolor</i> ハボウキガイ	a a	<i>Cardita leana</i> トマヤガイ	a a
<i>Atrina (Servatrina) pectinata</i> タイラギ	mD	<i>Megacardita ferruginosa</i> フミガイ	mD
Family Limidae ミノガイ科		Family Crassatellidae モシオガイ科	
<i>Limaria orientalis</i> フクレユキミノ	a mD	<i>Eucrassatella (Nipponocrassatella) japonica</i> モシオガイ	mD a
Family Gryphaeidae ベッコウガキ科		Family Cardiidae ザルガイ科	
<i>Parahyotissa inermis</i> カキツバタガキ	nD	<i>Vasticardium burchardi</i> ザルガイ	mD
Family Ostreidae イタボガキ科		<i>Vasticardium arenicola</i> キヌザル	a
<i>Ostrea denselamellosa</i> イタボガキ	oD	<i>Fragum bannoii</i> ヒシガイ	mD
<i>Crassostrea gigas</i> マガキ	a a a	<i>*Fulvia aperata</i> エマイボタンガイ	a a a
<i>Crassostrea nippona</i> イワガキ	a a	<i>Fulvia mutica</i> トリガイ	a a a
<i>Saccostrea kegaki</i> ケガキ	a a	<i>*Fulvia australis</i> ボタンガイ	a
<i>Striostrea circumpiota</i> コケゴロモ	a	<i>Fulvia hungerfordi</i> チゴトリガイ	nD nD
Family Pectinidae イタヤガイ科		<i>Fulvia undatopiota</i> マダラチゴトリガイ	nD nD
<i>Chlamys (Laevichlamys) irregularis</i> ナデシコガイ	nD nD	Family Mactridae バカガイ科	
<i>Mimachlamys nobilis</i> ヒオウギガイ	nD	<i>Mactra (Mactra) chinensis</i> バカガイ	a a a
<i>Mimachlamys pelseeneeri</i> ヒナノヒオウギ	mD	<i>Mactra (Mactra) veneriformis</i> シオフキガイ	a a a
<i>Chlamys (Azumapecten) farreri</i> アズマニシキガイ	a a	<i>Mactra (Mactra) nipponica</i> チゴバカガイ	a
<i>Chlamys (Azumapecten) squamata</i> ニシキガイ	a	<i>Mactra (Mactra) crossei</i> ヒメバカガイ	nD
<i>Dectopecten striatum</i> キンチャクガイ	a a	<i>*Coelomactra antiquata</i> アリソガイ	mD
<i>Excellichlamys spectabilis</i> チヒロガイ	mD	<i>*Micromactra depressa</i> ヒナミルガイ	mD
<i>Pecten (Oppenheimopecten) sinensis puncticulatus</i> ハナイタヤ	a	<i>Micromactra angulifera</i> ワカミルガイ	a
<i>*Pecten (Notovola) excavatus</i> シナイタヤ	mD a	<i>Lutraria (Psammophila) maxima</i> オオトリガイ	nD
<i>Pecten (Notovola) albicans albicans</i> イタヤガイ	nD	<i>Lutraria (Psammophila) sieboldii</i> ヒラカモジガイ	a

油谷湾で確認された貝類 つづき8	A B C D	油谷湾で確認された貝類 つづき9	A B C D
<i>Tresus keenae</i> ミルクイ		<i>Pitar (Pitarina) japonicum</i> ウスハマグリ	nD
<i>Meropesta nicobarica</i> ユキガイ	a a a	<i>Costellipitar chordatum</i> チチミマメハマグリ	nD
<i>Raeta (Raetellops) pulchella</i> チヨノハナガイ	a a a	<i>Callista (Callista) chinensis</i> マツヤマワスレ	a a
Family Mesodesmatidae チドリマスオガイ科		* <i>Callista (Callista) pilsbryi</i> コマツヤマワスレ	a
<i>Donacilla picta</i> チドリマスオガイ	a a a	<i>Phacosoma japonica</i> カガミガイ	a a a
<i>Coecella chinensis</i> クチバガイ	a a a	<i>Phacosoma troscheli</i> マルヒナガイ	nD nD
Family Cardiliidae キサガイ科		<i>Dosinia subalata</i> タマカガミ	nD
<i>Cardilia semisulcata</i> キサガイ	mD mD mD	<i>Bonartemis historio iwakawai</i> サザメガイ	mD
Family Pharidae ユキノアシタ科		<i>Ruditapes philippinarum</i> アサリ	a a a
<i>Siliqua pulchella</i> ミゾガイ	a a	<i>Ruditapes bruguieri</i> ヒメアサリ	a a
<i>Eusculus cultellus</i> タカノハガイ	a a	<i>Paphia (Paphia) euglypta</i> スダレガイ	a
<i>Sinonovacula constricta</i> アゲマキ	oD	<i>Paphia (Paphia) amabilis</i> サツマアカガイ	a a
Family Solenidae マテガイ科		<i>Paphia (Paphia) vernicosa</i> アケガイ	a a
<i>Solen (Solen) strictus</i> マテガイ	a a	<i>Paphia (Paphia) exarata</i> ヒメスダレ	mD
<i>Solen (Solen) kurodai</i> ダンダラマテガイ	a	<i>Paphia (Neotapes) undulata</i> イヨスダレ	nD
<i>Solen (Solen) grandis</i> オオマテ	a a	<i>Gomphina (Macridiscus) veneriformis</i> オキアサリ	a nD
<i>Solen (Solen) roseomaculatus</i> パラフマテ	a a	<i>Irus (Irus) mitis</i> マツカゼガイ	nD nD
Family Tellinidae ニッコウガイ科		<i>Meretrix lusoria</i> ハマグリ	a mD a
<i>Pharaonella sieboldii</i> ベニガイ	a a	<i>Meretrix lamarckii</i> チョウセンハマグリ	mD
* <i>Angulus vestalioides</i> クモリザクラ	oD	<i>Cyclina sinensis</i> オキシジミ	a a
* <i>Arcopella isseli</i> ハツヒザクラ	mD	Family Petricolidae イワホリガイ科	
<i>Merisca (pistris) margaritina</i> アコヤザクラ	oD	<i>Glaudiconcha japonica</i> セミアサリ	nD nD
* <i>Pinguitellina pinguis</i> ミガキヒメザラ	a	<i>Ptericolirus aequistriata</i> シオツガイ	oD
<i>Punipagia radiatolineata</i> ゴシキヒメザラ	nD nD	<i>Pseudoirus mirabilis</i> チチミイワホリガイ	nD nD
<i>Loxoglypta lauta</i> シボリザクラ	a a	<i>Lajonkairia divaricata</i> チチミガイ	nD nD
<i>Semelangulus miyatensis</i> ニクイロザクラ	a a	Family Myidae オオノガイ科	
<i>Moerella rutila</i> ユウシオガイ	a a a mD	<i>Mya (Arenomya) arenaria oonogai</i> オオノガイ	oD oD oD
<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i> サクラガイ	a a a	<i>Cryptomya elliptica</i> ヒメマスオ	oD
<i>Nitidotellina iridella</i> カバザクラ	a a	<i>Distugonia decurvata</i> オフクマスオ	mD mD
<i>Nitidotellina minuta</i> ウズザクラ	a	Family Corbulidae シコロクチベニガイ科	
<i>Heteromacoma irus</i> シラトリガイモドキ	a a	<i>Solidicorbula erythrodon</i> クチベニ	a
<i>Macoma (Macoma) incongrua</i> ヒメシラトリ	a a a	Family Gastrochaenidae ツクエガイ科	
<i>Macoma (Macoma) contabulata</i> サビシラトリ	a oD	<i>Gastrochaena (Cucurbitula) cymbium</i> チビツクエガイ	mD
<i>Rexithaerus sector</i> サギガイ	nD mD	Family Hiatellidae キヌマトイガイ科	
Family Semelidae アサジガイ科		<i>Hiatella orientalis</i> キヌマトイガイ	a
<i>Semele sinensis</i> フルイガイ	a	Family Pholadidae ニオガイ科	
* <i>Leptomyaria trigona</i> チビコチョウシヤクシ	mD	<i>Barnea (Anchomasa) manilensis</i> ニオガイ	a a a
<i>Theora fragilis</i> シズクガイ	nD	Family Laternulidae オキナガイ科	
Family Psammobiidae シオサザナミ科		<i>Laternula (Laternula) anatina</i> オキナガイ	a a a
<i>Gari anomala</i> ウスベニマスオ	nD	<i>Laternula (Exolaternula) marilina</i> ソトオリガイ	a
* <i>Gari pallida</i> ヒノデアシガイ	nD	Family Thraciidae スエモノガイ科	
<i>Psammotaena minor</i> ハザクラ	nD nD	<i>Cysthodontia granulosa</i> スナゴスエモノガイ	nD
<i>Soletellina diphos</i> ムラサキガイ	mD nD	<i>Eximiothracia concinna</i> シナヤカスエモノガイ	nD
<i>Soletellina atarata</i> アケボノキヌタ	nD nD	Family Lyonsiidae サザナミガイ科	
<i>Soletellina boeddinghausi</i> フジナミ	nD nD	<i>Lyonsia ventricosa</i> サザナミガイ	a a
<i>Nuttallia japonica</i> イソシジミ		Family Myochamidae ミツカドカタビラ科	
Family Solecurtidae キヌタアゲマキガイ科		<i>Myadora fluctuosa</i> ミツカドカタビラ	a
<i>Solecurtus divaricatus</i> キヌタアゲマキガイ	mD mD	Family Cuspidariidae シヤクシガイ科	
<i>Azorus chamasolen</i> ズンゲリアゲマキ	a a	<i>Cardiomya (Cardiomya) gouldiana</i> ヒメシヤクシ	mD
Family Donacidae フジノハナガイ科		Class Scaphopoda 掘足綱	
<i>Donax (Latona) cuneata</i> ナミノコガイ	a nD	Family Dentaliidae ツノガイ科	
Family Trapeziidae フナガタガイ科		<i>Dentalium (paradentalium) octangulatum</i> ヤカドツノガイ	mD mD
<i>Trapezium (Neotrapezium) sublaevigatum</i> タガソデモドキ	a nD	<i>Antalis weinkauffi</i> ツノガイ	a
Family Veneridae マルスダレガイ科		Family Pulsellidae ヒゲツノガイ科	
<i>Antigona lamellaris</i> サツマアサリ	a	<i>Pulsellum hige</i> ヒゲツノガイ	nD
<i>Anomalodiscus (Anomalodiscus) squamosus</i> シオヤガイ	oD		
<i>Placamea lamellata</i> ハナガイ	a		
<i>Timoclea (Chioneryx) micra</i> ヒメカノコアサリ	a a		
<i>Timoclea (Chioneryx) costellifera</i> ヒゼンカノコアサリ	nD nD		
<i>Protothaca (Notochione) jedoensis</i> オニアサリ	a a a		
<i>Circe scripta</i> シラオガイ	a a		
<i>Gafrarium divaricatum</i> ケマンガイ	a a		
<i>Pitar (Pitarina) sulfureum</i> イオウハマグリ	mD		
<i>Pitar (Pitarina) lineolatum</i> ガンギハマグリ	a a a		
<i>Pitar (Pitarina) noguchii</i> シロウスハマグリ	nD		

a: 生体, nD: 新鮮な死殻, mD: やや古い死殻, oD: 古い死殻 (*は山口県新記録種)